

家出した人妻を

拾った結果



バイト先の駐車場で
頂垂れていたのは
密かに憧れていた
人妻の果歩さんだった



第1話
『拾われた人妻』

いつも
明るかった彼女の
落ち込む姿を
見ていられず



少し強引だと思いつつも
俺は彼女を自宅へと
連れ帰る

前作の

あ
ら
す
じ



豊満すぎる体型を疎まれ
夫に浮気までされて
追い出された果歩さん

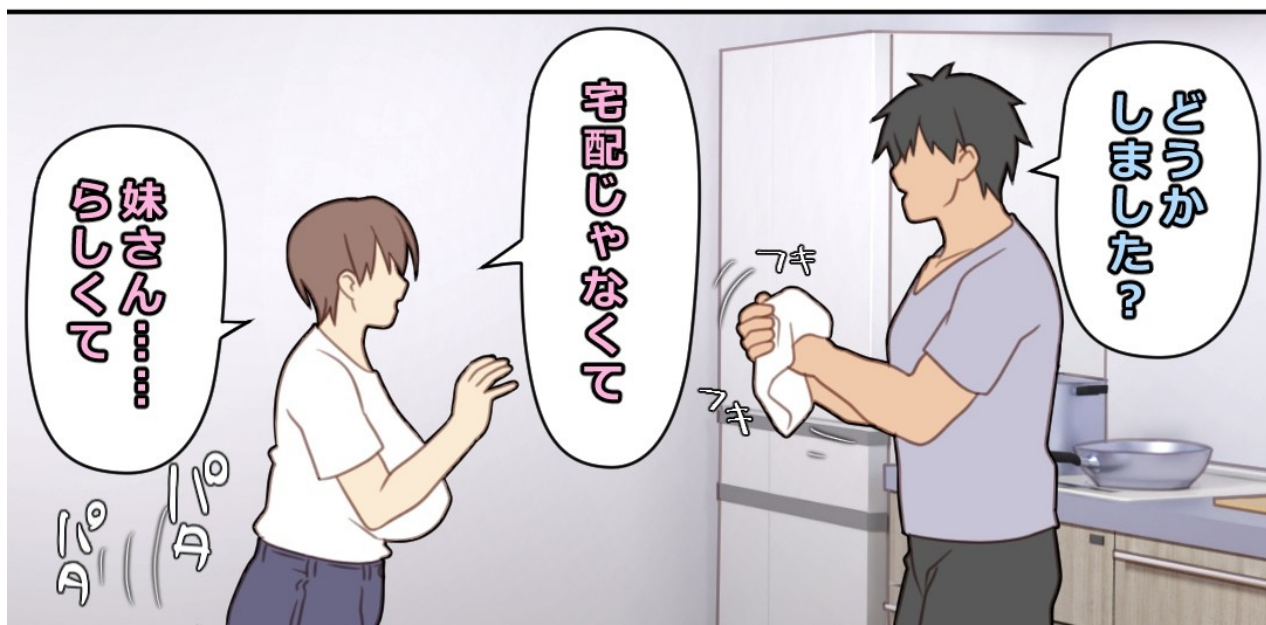


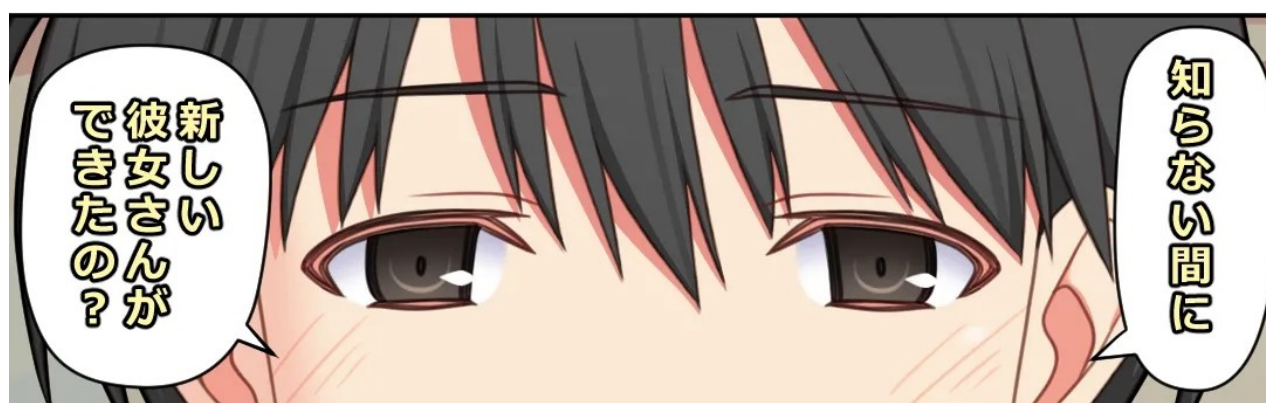
すっかり自信をなくした
果歩さんを見かねた俺は
旦那から彼女を
奪い取ることを決心した



夢にまで見た
果歩さんとの
同棲生活が始まる









親父に内緒に
してもらおうのと
引き換えに

果歩さんと
暮らす事に
なった事情を
聞かせると
妹にせがまれた





またあいつが
やらかしてないか
ちよつと様子を
見てきてくれ

って
頼まれたの

今のところは
黙っておくから

彼女さんの
ためにも
早めに
ちゃんとしてよ



ああ……
もうっ

何もかも
申し訳ない

私のせいで
いるんな人に
迷惑を……

あなたが
いるだけで

果歩さんは
何も悪くない！

俺は毎日が
最高に楽しいし
迷惑とは
正反対ですよ





女性の趣味が

いつも同じ

ってことは...

私みたいな
彼女って

何人ぐらい

いました？

私か知るだけで

...
まき



妹さんとの
約束の
影響なのか

私は当事者なのに
夫に会うこともなく

弁護士の先生に
全て委任する形に
なっていた



私の知らない内に
離婚協議が着々と
進行しているらしく



仮にも
夫だつた
相手に対して



いつものように
強引に
止められて
しまった

『果歩さんが
これ以上
傷つく必要は
ありません』と



とても
無責任な態度に
感じてしまうけど

慰謝料なんて
どうでもいいから

できるだけ早く
穏便に
別れられたら
それでいい



こんなのはい
只の情けない
現実逃避なの

嫌な顔
ひとつせず
全てを叶えて
くれた彼に

私が何を返せると
いうのだろう



今……

ちよつと話をしてもいいかな？

何ですか
改まって

果歩さんの話ならいつでも聞きますよ

あらためてお礼をしたいと思いますけど

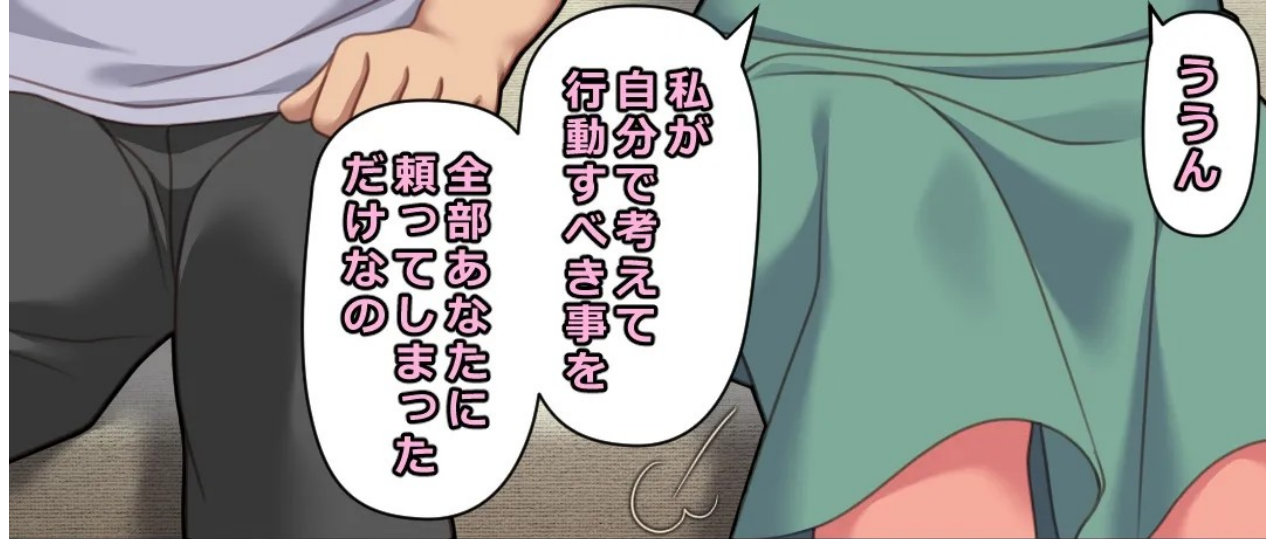
何度も何度も同じことを感謝されても困るわよね

だから今日は
お礼の先のお話がしたくて

離婚協議の話ですか？

やってる事は善意の押し売り
って言うか……

お礼を言われる立場じゃありませんよ



私のことを
変わらず好きで
いてくれるなら

わ

あ

あ

っ

私を……
恋人に
してください



年下の
大学生に
迫られて

断り切れずに
何度も
流された

どうしようもない
人妻だった
って事よ

それだと

家出に
付け込んで
強引に身体を
要求した感じに
なってますん!?

いやっ!
違いますよ!

とにかくっ!

これは私の
けじめみたいなの
なのよ

今の私は
仕事も生活も
ふらふらと
したままで

沢山の問題が
残っていて

他人にも
きつと
理解されない
関係だわ



でも……
それでも
構わないって
覚悟が
できたから

あなたの事を
本気で好きに
なれたの

恋人に……
なってください



はいっ！

俺だっ
て好き
です
果
歩
さん
っ！

意外にと
果歩さんに
懐いていた

ふかふかで
幸せ……



待って待って
待って！

またHなことを
しようとして
してるでしょ

晴れて
恋人同士に
なったんだし

断る理由も
ないですよ？

第3話 『恋人同士の初めて』

恋人同士とか
言っても

いつも通り
じゃない

これから
もつと

恋人らしい事も
いっぱい
しましょうね

デートも
しましょう

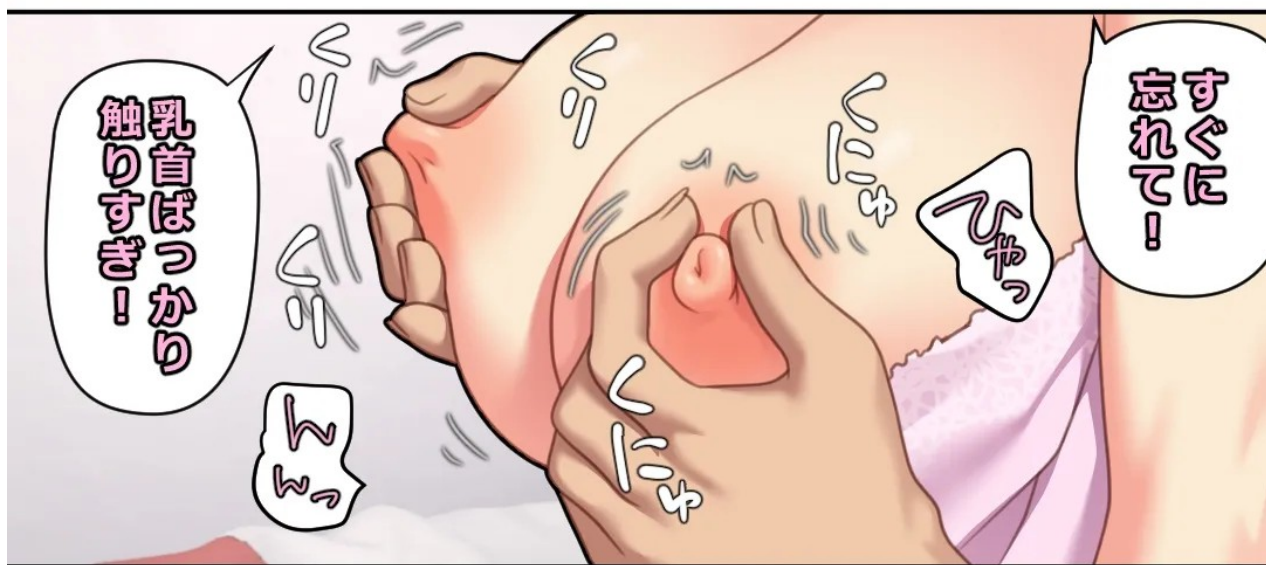
やっ
やっ

ん

さあ..

さあ..

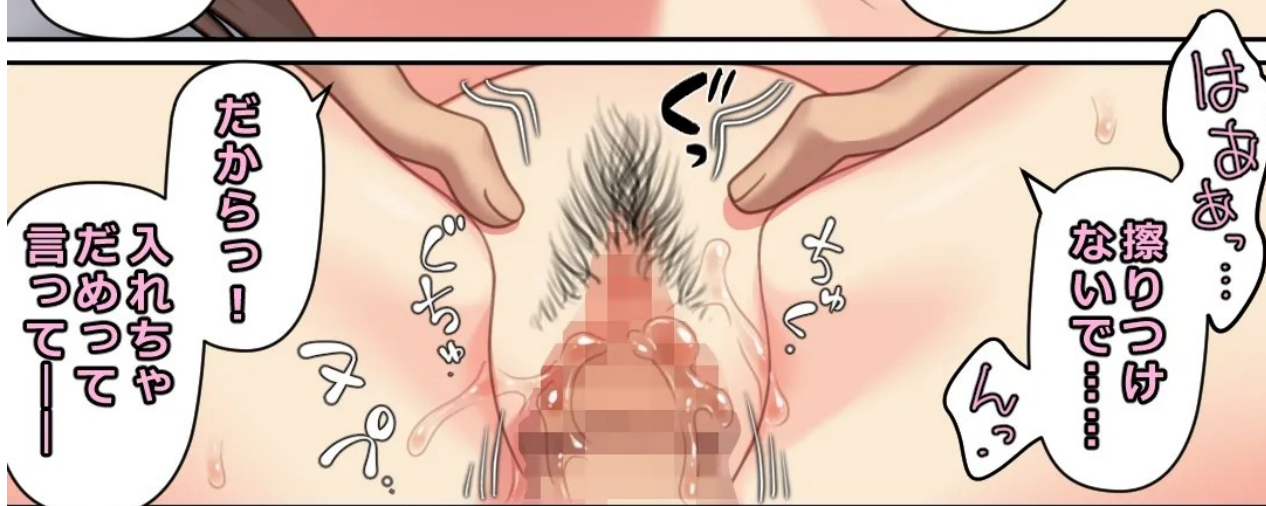
















んくっ!

そこまでは
変わらないわよ

そっ



少なくとも
果歩さんは

いつもより
気持ち
良さそう
ですよ?



じゃあ

果歩さんが
自分で
味わって

確認して
くださいよ



やだあ
私……これ
好きじゃないの

恥ずかしいし
やり方も
よく分からないし

いいんですよ
果歩さんの
ペースで

ゆっくり
動いて
ください













どうして私
出した後で
舐めるなんて
言っただのよ……



果歩さん
さっきの約束

覚えて
いますよね？

ヌ
ッ

それは……
ううう



ドキ

ドキ

ものすごい
匂いが
漂ってる

こんなのを
口に入れたら

……私

ああ……

ドロドロに
なってるし

む

わっ

ヌ
ル

ヌ
ル



私が精液を
飲み込んだら
嬉しいの？

やっぱり
こっちを見て
興奮してる



思った通り
ひどい味……
でも

私が精液を
舐め取ったら
きつと
喜ぶよね？

は

フイッ

んむ

む



出したり
なつたり
のに

さつよりも
硬いかも……

ちゅ

じゅる

は

ゴ

じゅる
れるる

グ

全部
舐めとって
あげたいけど

大きすぎて
口には
収まらないわ





ああ……私

好きな人の
おちんちんの
だったら

舐めるの
嫌いじゃ
ない……かも

ぢゅぽ

んっ

ぢゅぽ

ミチノ
ミチノ

ぢゅぽ

精液なんて
飲みたくないけど
射精されたら
きつと……
嬉しくなっちゃう

じゅぽ

うわあっ！

そんなに
されたら
本当に出ちゃ……

出してっ！

飲ませてっ！

私のお口で
いっぱい
射精してえっ！

ぶーっ

ぢゅぽ

ぶーっ

じゅぽ

果歩さんっ！



相変わらず
すごく
ドロドロして

じゅわん

じゅわん

くちゅ
くちゅ

ぷんぷん

いやらしい
味がする

変な気分
になるぐらい

思った通り
ものすごい
量の精液

ドッ
ビュッ
ジュッ



はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

少しは
落ち着く
...よね?

さすがに
これだけ
出せば

あんなに
頑張つて
舐めたのに……

その後も

いつもより激しく
襲われてしまった



いつの間にか
腕枕にも
慣れてしまったし

腕の中で

寝ていると

何故だか

悪い夢を

見なくなった



数日後の週末

再び妹さんに
会えるのは
嬉しいけれど

来訪の
タイミングが
最悪だった

第4話 『店員さんがいる』



えっとね？

店長に事情を
説明したら
隣の支店で

すぐにでも
働かせて
貰えることにな
って……

慌てて
説明すると
余計に
怪しくなる
というか……

どうせ
お兄ちゃんが

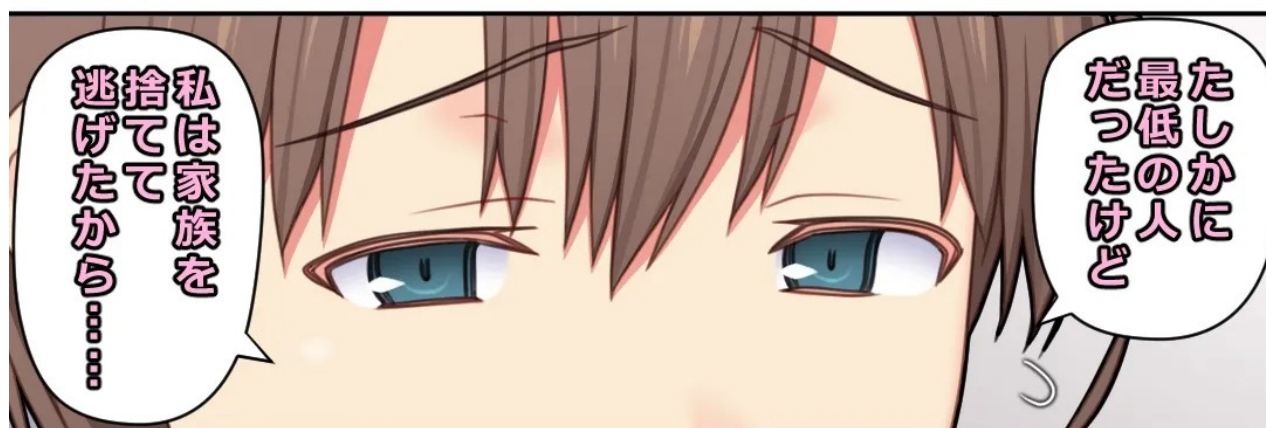
久しぶりに
制服姿を
見てみたい！

とか
言ったん
でしょ？

心を読むな











ナメナメ

お土産にドーナツ

やるから

くるくる

帰る

はっ

私を

追いついて

制服姿の

私を黒歩さんと



はっ

またつもりでは!!

もうっ……

すぐ
発情しないで！

凛奈ちゃんが
戻ってきたら
どうするのよ

第5話 『制服姿の果歩さんと』

可愛そうでしょ！

フキッ

そのまま
追い返しますよ





違うわよっ！

あなたのつて
濃すぎるから

今のうちに
少しでも
出して
おかないと

はあっ

孕まされちゃう

果歩さん
すっかり生で
入れる前提で
話してるな……



飲み込みが
早いからね

これで
ホールの仕事は
一通り合格よ

ずっと
懂れてた
果歩さんが

今では
エロい顔で
パイズリして
くれるなんて



ごめん
果歩さん！

やつぱり
一番濃いのを
中に注がせて

なんで
そうなるのよっ！

恥ずかしいのを
我慢して
頑張ったのにつ！

はっ

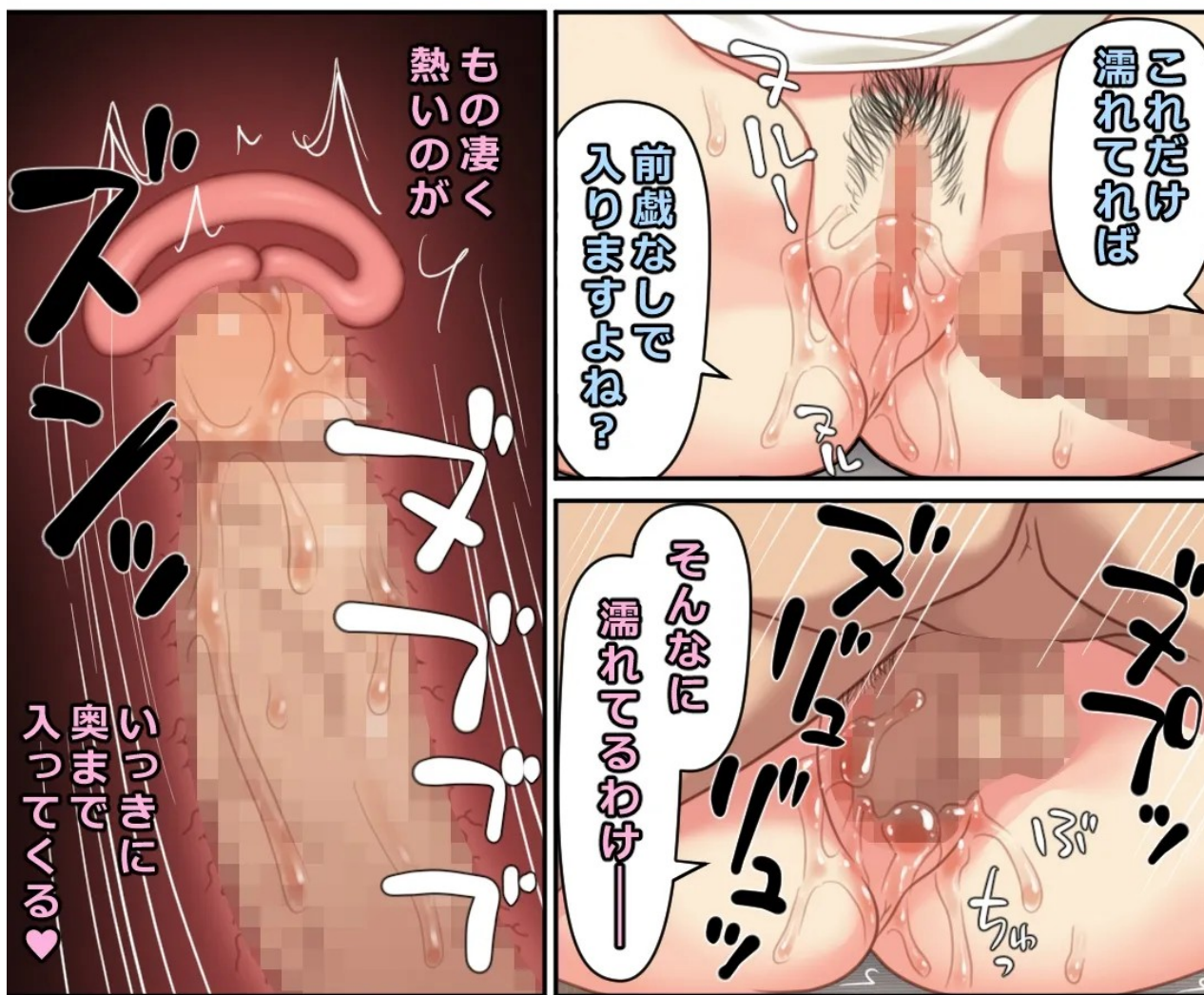
がし



ちょ
ちょっと

落ち着いて!?

無理です
ベッドまで
待てない



これだけ
濡れてれば

前戯なしで
入りますよね?

もの凄く
熱いのが

ズン

ズンズン

いつきに
奥まで
入ってくる♡

そんなに
濡れてるわけー

ズンズン
ズンズン
ズンズン



どうしてえ?

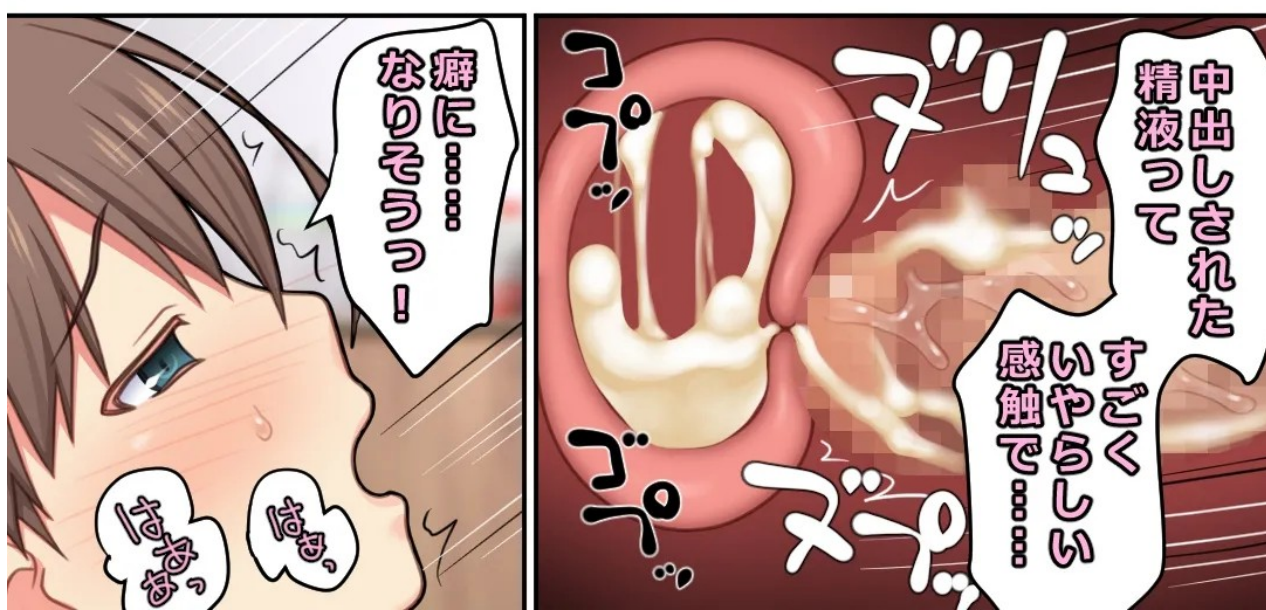
いつもより
すつごく
太い……

それはっ!
射精直前
だからです!











あー

イクッ！

こんなの
すぐに
イっちゃう！

ああああ

頭が
ぐちゃぐちゃ
になるうっ！

ひっ

ひっ

ひっひっ

いっほ

いっほ

ひっ

あー

出すよ
果歩さんっ！

いっほ

あー

あー





さらに
数ヶ月の時間が経ち

私たちは本当に
結婚する事にな
った

真っ白な
ワンピース
なんて
私には
似合わな
い
でしょう
か？

いいや！

めちやくちや
可愛いです

デートに誘って
くれたことも

この服を
プレゼントして
くれたことも

嬉しいとは
思っただけ
いるんだけど……

第6話 『公園でデート』





俺はあなたを
絶対に
手放しません

これから
夫婦として
家族として

誰よりも楽しく
暮らしましょう

私を
拾ってくれて
ありがとう

私もずっと
愛してる

この生き方が
正しいのかなんて
考えるのは
とつくにやめた

今はただ
幸せな思い出を
作るうと
思っている



—— あとがき ——

お買い上げありがとうございます
ぱすとG の かまとりぽかり です

家出人妻との
『その後』を描くにあたって
この二人と一緒に暮らすと
どんなことが起こるのかと
かなり悩んだのですが

キスと中出しセックスに
溺れるしかないという
結論にたどり着きました

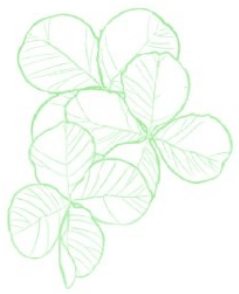
甘い空気ながらも
ねっとり絡み合う姿を
描いたつもりですが
楽しんでいただけましたか？

お話としては
これで終わりなのですが

どうしても『その先』も
描きたくなくて
追加エピソードも
作ってしまいました

これからも
Hなコミック作品を
作っていきますので

サークルフォローやレビューなど
よろしくお願いします



アキちゃん
みたい

ホちゃん











あー♡♡♡♡♡

ポッポッポッ

ポッポッポッ

ポッポッポッ

クワッ

クワッ

イク瞬間...
気持ち良すぎて
おっぱいでちやっただ♡

こんな
愛欲まみれの
相変わらずの
日々だけど

大切な人が
そばに
居るだけで

暖かな
気持ち
私の胸を
満たして
いた

おわり

